



日本語

# NETWORK NEWS

東京日本語ボランティア・ネットワーク発行

## 大きな夢をはぐくんで ボランティアネットワーク活動の幕開け

東京日本語ボランティア・ネットワーク 代表 伊藤美里

### 『日本語NETWORK NEWS』創刊!

東京には珍しい銀世界も花のかおりの内にあえなく消え去り、いよいよ春。すべての命が活動を始める季節です。新しい季節の兆しとともに、わが「東京日本語ボランティア・ネットワーク（以後、東日ボラ・ネット）」もいよいよ本格的に活動を開始することになりました。

その第一歩として、ここに「東日ボラ・ネット」のニューズレター第一号を発行いたします。この『日本語ネットワーク』の創刊にあたり、皆様のご理解とご協力なしではとてもここまでに到らなかったと心から感謝をいたします。

### 「東日ボラ・ネット」から世界へネットワークをひろげよう

「東日ボラ・ネット」は、みんなで話し合いながら、育てていく会にしていきたいと思っております。そこで、今後に向けて、長期のビジョンをいくつかあげてみました。まず、充実した当会の基礎づくりにとめない、このネットワークをさらに近県にむすんでいき、日本全国に広がる同じころざしをもつ人々との出会いを持つてはありませんか。情報の交換・収集はもとより、各自のもつ問題を掘り起こし常に勉強する、そういう会にしましょう。

そのような会の運営に力を貸し、支援してくれる企業を尋ねギブ&テイクで、当会の協力したり、手伝ったりできることをアピールし、また行政へも呼びかけ、働きかけができる 力をつけましょう。

何よりも世界のボランティアとして、誇れるように、ボランティア自身の資質の向上につとめ、海外とのネットワークも計って行きましょう。日本での活動とはいえ、外国の人達とも一緒に活動できる場づくりを考えて実践しましょう。

巻頭の辞にしては大きな夢のようなこと連ねてしまいましたが、夢は大きいほうがよいし、「念ずれば花ひらく」という言葉もあるではありませんか。生まれたばかりの会です。これから皆の手で立派に育てるといふ喜びに参加して下さってありがとうございます。大勢の皆様のご賛同とご参加をお願いいたします。





# 運営委員会からのお知らせ

## 📖 第2回運営委員会のご報告 🖋️

第2回運営委員会がさる2月18日に開催されました。以下その内容です。

日時：1994年2月18日（金）午後2時～4時半

場所：東京ボランティアセンター会議室

参加者：22名

### I 事務局からの連絡事項

- (1)事務局の活動日……2/28・3/7・3/14  
(各月曜日午後2時～4時)
- (2)『日本語ネットワークニュース』の印刷・発送のお手伝い募集
- (3)入会申込書フォーム未記入の団体・個人会意員はご記入ください。
- (4)会費をお支払ください。
- (5)2/14日東京新聞の取材を受けました。

### II 討議事項

- 1：凡人社からの提案「交流会当日に日本語ボランティア教材開発のためのアンケート実施する」について。
  - ①アンケートモデルの内容に一部不相当なところがあり、改善が必要。
  - ②交流会のときはあまり時間がないので、前もって各団体に送付。交流会当日に回収するようにしてほしい。
  - ③アンケートの結果は日本語ネットワークの役に立てる。
- 2：賛助会員募集のための文案の検討。
- 3：日本語教室マップについて。
  - ①マップは1年に1回発行。
  - ②その間の追加・変更については『日本語ネットワークニュース』に掲載する
  - ③東京新聞に掲載予定の「東京都内日本語教室分布図」を使わせてもらう。
  - ④マップ編集委員を募集する。
- 4：交流会について（詳細は講習会のお知らせをご覧ください）
  - ①実施案の検討      ②パネリスト／担当者の決定。      ③参加者募集方法の検討
  - ④ホームビジット・ホームステイの紹介・事例報告を入れる。
- 5：日本語ボランティア講習会について  
内容などの詳細については、討議する時間がなかったため未定。  
また、2/25に笹川財団を訪問の結果、笹川財団が東京で開催予定の日本語ボランティア講習会に、東京日本語ボランティア・ネットワークとして協力することになりました。詳細は後日お知らせします。

### ~~~~~ 第3回運営委員会開催します。 ~~~~~

日時：3時19日（土）午前10時～12時

場所：東京ボランティアセンター（左地図参照）

☎03-3235-1171

これまで参加できなかったみなさんもふるってご参加ください。

2 （事務局／林川・記）

1994年2月						
SU	M	TU	W	TH	F	ST
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

○ ⇒ 第2回運営委員会

☆ → NL創刊・発送日

1994年3月						
SU	M	TU	W	TH	F	ST
		1	2	3	4	5
6	☆	8	9	10	11	12
13	☆	14	15	16	17	18
19						19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

○ ⇒ 第3回運営委員会

☆ → 事務局活動日

—至お茶の水— JR飯田橋駅 —至縮—

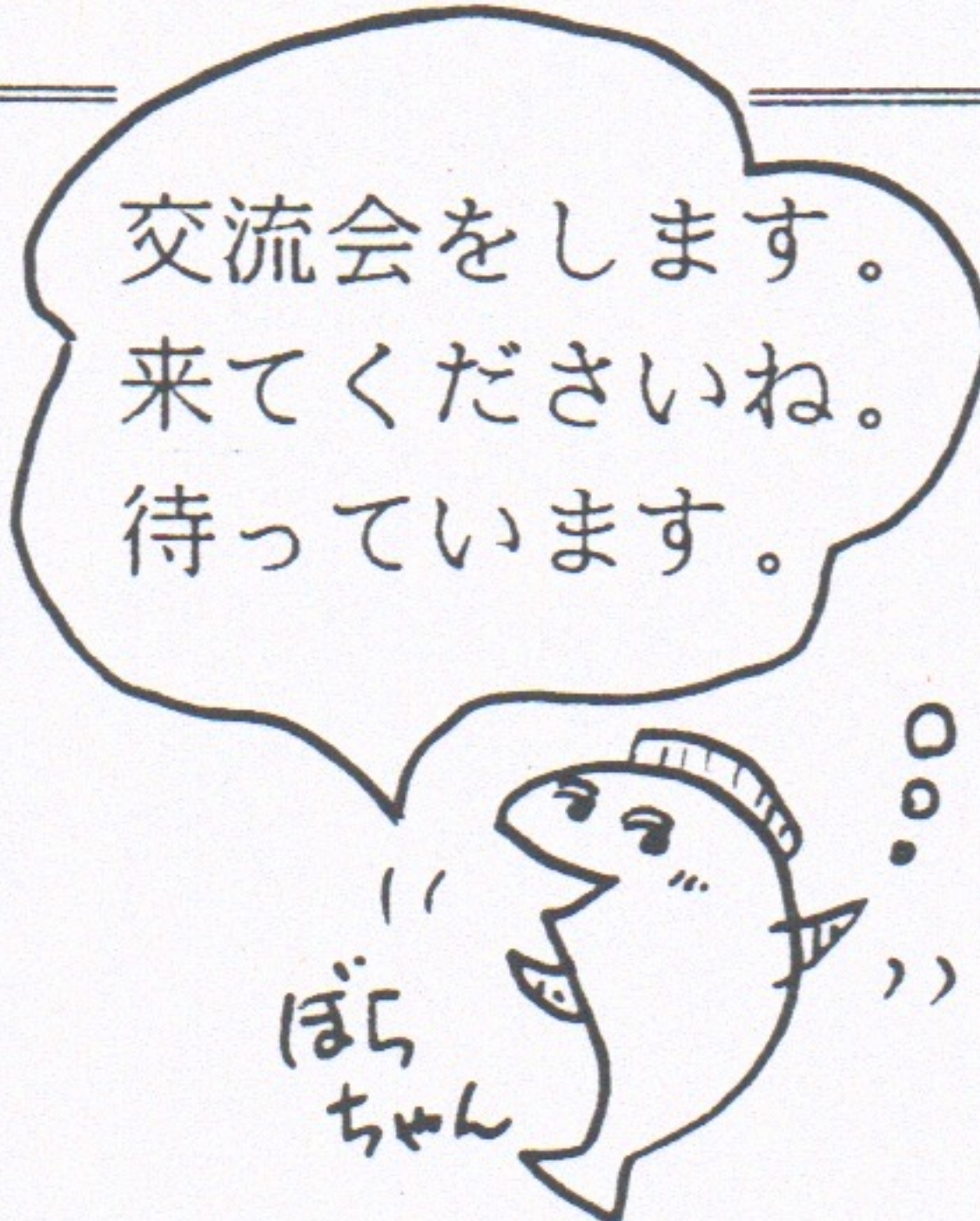
セントラルプラザ7F★



## 第1回交流会を開催します



日時 : 1994年3月19日(土)  
 午後1~5時  
 場所 : 東京ボランティアセンター 講習室(3室利用)  
 [JR総武線・地下鉄有楽町線、東西線の  
 飯田橋駅下車、徒歩1分]  
 参加費 : 500円 (飲み物つき)  
 申込方法 : 別紙申込用紙にてお申込みください。



スケジュール	内容	詳細
12:45 ~ 1:00	受付	※ ※ ※ ※
1:00 ~ 2:15	分科会	①日本語ボランティアについて考える ②ボランティアグループの運営について ③ビデオ教材の使い方
2:15 ~ 2:30	休憩	☕ ☕ ☕ ☕
2:30 ~ 3:45	分科会	④外国人からの意見を聞いて ⑤外国人のかかえる問題にどう対処するか ⑥教科書・教材の選び方
3:45 ~ 4:00	休憩	☕ ☕ ☕ ☕
4:00 ~ 5:00	全体会	①ホームビジット/ホームステイ紹介と事例報告 ②各分科会からの報告 ③質疑応答

## 日本語ボランティア Q & A



Q: 学習者からいろいろ質問されたとき、わからなくて答えられないことがあって困っています。どう対応したらよいでしょうか。

A: 質問といっても学習者のレベルによって対処法が違いますし、日本語(言葉の意味や文法)に関する質問か、日本社会(文化や風俗)に関する質問かによっても違ってきますので、一概には言えませんが、学習者との信頼関係や学習時間の節約という点からその場で考えてわからなければ次回までの宿題(こちら側の)ということにしたらいかがでしょうか。そして、ある程度調べたり考えたりしてもわからない場合は、正直に「わからなかった」と言うほかはありませんが、身近に仲間や経験者がいれば恥ずかしがらずにたずねてみたらどうでしょうか。三人よれば文殊の知恵といえますから。今後、東京日本語ボランティア・ネットワークでもそうして問題に対応できるような姿勢(たとえば、日本語ホットラインのようなもの)を作っていくたいなと考えていますので、いましばらくお待ちください。 日本大学講師 福田 知行



## NICE TO MEET YOU!

### [会員団体のプロフィール紹介]

東京日本語ボランティアネットワークには、94年2月現在で45の日本語ボランティア団体が会員として参加しています。このコーナーでは毎回、会員団体のプロフィールをご紹介します。



## JCA (JAPAN CULTURE ASSOCIATION)

たのしく長続きする活動を……………久野 富雄

JCAは1993年数人の主婦の相談から誕生しました。その後世田谷区ボランティア協会のご支援で育ち、特に最近3～4年で大きくなりました。現在世田谷区内6ヶ所で毎週12教室を開いています。会員数(先生)は約260人。生徒は300人くらいです。教え方は、1対1、つまり「MAN TO MAN」が基本。また、会員の中で希望者を対象に“日本語の教え方”の勉強会を常時開いています。

活動内容は、日本語教室のほかに外国人に対する生活相談助言、国際交流と親睦があり、年一回「おしゃべりひろば」というたいへん

楽しいイベントを実施しています。会費は1年あたり、1,000円、外国人生徒は1ヶ月500円(週1回として)。会の運営は、1年後と大勢の会員が交替しながら、役割を分担してやっています。JCAが発展してきたのは会員めいめいが活動に参加することに喜びと生きがいを感じたからだと思います。これからもJCAはボランティア精神を忘れず、楽しく長つづきのする活動を望んでいます。



JCAの活動風景



## 立川国際交流協会

### アンケート結果

Q : 「日本語教室は楽しいですか？」

A : 「楽しい」89% [55名/62名]

理由 : ①日本語の勉強ができる。

②日本人と話ができる。

③自分の国の人に会える。

④いろいろな国の人に会える。

A : 「あまり楽しくない」「つまらない」  
11% [7名/62名]

理由 : ①ボランティアがよく変わる。

②勉強の進み方が遅すぎる。

③いろいろな人と話すことができない。

④勉強の進み方が早すぎる。

⑤ボランティアにわからないところを聞いても答えられない

### 日本語教室は楽しい?それとも… 原田久美子

立川交流協会(以下「TIFA」)は、1992年4月、立川市社会福祉協議会の助成金が降りたことをきっかけに成立。6月には立川公民館主催・「TIFA」協力という形で日本語教室が開講し、現在では市の委託事業として運営されている。教室では、80人程度のボランティアが交替で、木曜日と土曜日に各2時間ほど日本語を教えている。このたび、日本語教室をより充実させるためアンケート調査をおこない、右のような興味深い結果がでた

「TIFA」ではこれらのアンケート結果を参考にして、今後ともすべての人に開かれた場としての日本語教室を、あきらめることなく粘り強く発展させていきたいと思う。まさに日本語教室はさまざまな価値観と異文化の舞う楽園である。だからこそお互いに学び高め合うことがたくさんあり、それぞれの限られた時間を他人のために費やしながらも、自分も楽しむことができたなら、こんなよいことはないと思う。



# 江戸川ユニオン日本語教室

オーバーステイ外国人にも日本語を..... 岩佐 幹彦

江戸川区では外国人労働者が1988年から増え始め、江戸川区の地域労働組合である江戸川ユニオンに「住まい」や「医療」、「転職」などについての相談が寄せられるようになりました。

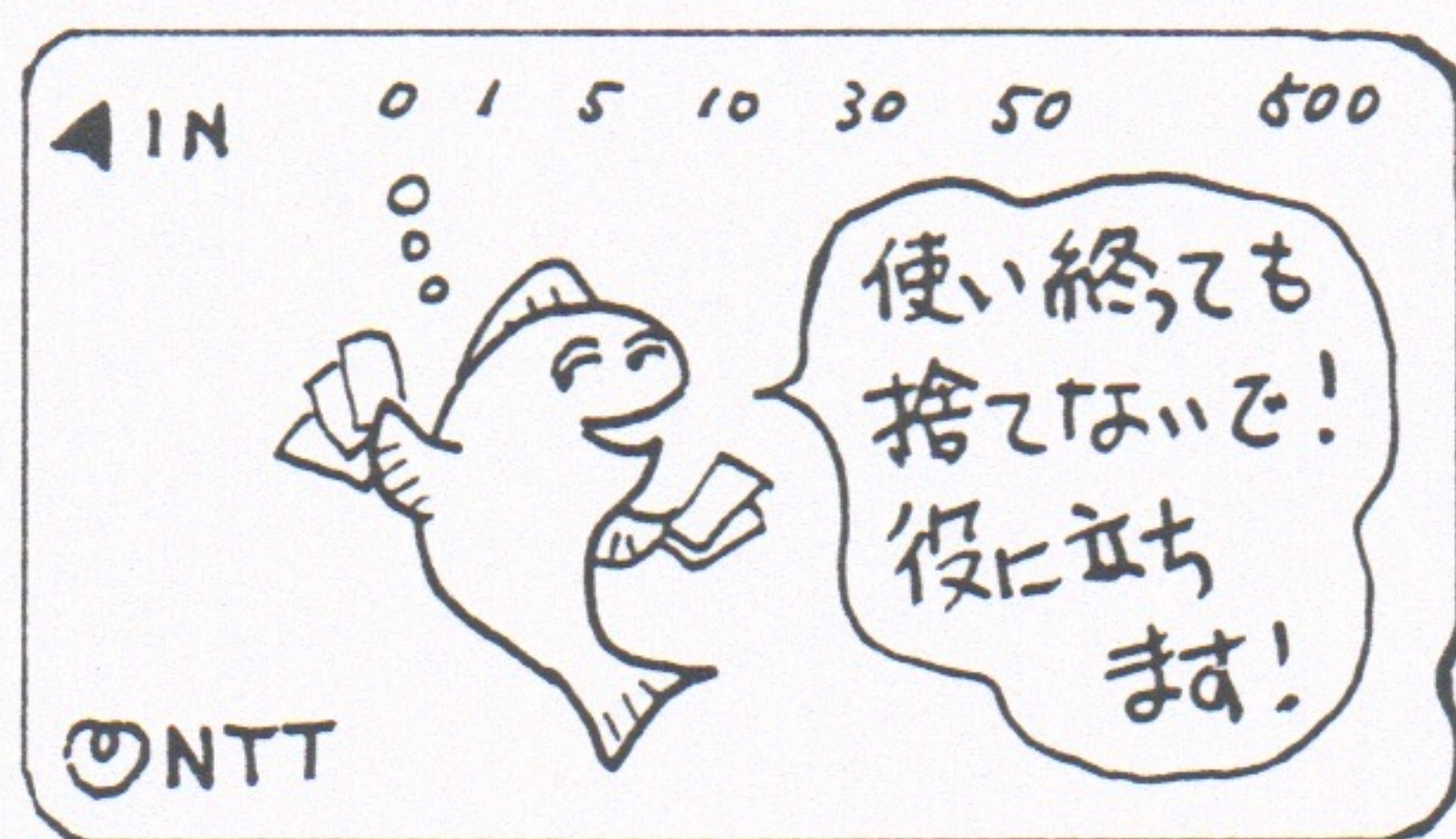
外国人労働者との接触のなかで、日常の暮らしの中で片言の会話はできても、憩いとなる週刊誌や新聞が読めないことがわかりました。読むことができるようになれば、もっとくらしやすくなるのではないか、ということが日本語教室解説の契機でありました。

オーバーステイ外国人は日本で生活するうえで「言語や生活習慣の違い」から多くの困難に出合っています。

オーバーステイの場合、「不法滞在なのだから・・・」という話を耳にすることがありますが、少なくとも「日本語を学びたい、知りたい」という外国人がいれば国際交流の一つとして、日本語の門戸を大きくあけてよいと考えています。



## NEWS CLIP



### テレホンカードで国際貢献 『朝日新聞』より

私達の生活にテレホンカードが浸透し、すっかり定着してきた現在、その使われ方も大きく広がってきています。なかでも、テレホンカードを換金してボランティア活動の資金にしたり、市民運動に役立てる例が増加。そこでここでは全国各地の活動例のなかからいくつかをご紹介します。

☎アフリカ友の会／東京都昭島市中神町1268-22 ☎0425-46-0668

中央アフリカ共和国の「エイズ母子感染センター」で働く助産婦の徳永瑞子さんの活動をサポート。

☎ジョイセフ／東京都新宿区市が谷砂土原町1-1、保険会館別館 ☎03-3558-1911

24の開発途上国での母子保険、衛生教育など活動資金の一部に充てる。

☎テレカ収集協会／東京都板橋区坂下3-12-8-202 ☎03-3558-1998

使用済みカードを回収し収集家の交歓会などで換金。オリジナルカードを作って日本赤十字社に寄付。日赤はそれを献血キャンペーンや献血者へのプレゼントなどに利用。

☎アフリカ村おこし運動／三重県津市西丸の内17-1、近藤マンション2B ☎0592-28-1699

未使用テレホンカードや書き損じ葉書の寄付を基金とし、集まったテレホンカードは、運動に協賛する企業が電話料金支払に使い、その分を現金で基金に還元。ザイルやブジンの農村でヤシの植林や学校建設、道作りに取り組む。

☎サークル／バハギヤ／神戸市中央区籠池通1-1-21、ザベリオ宣教会内 ☎078-222-4652

インドネシアやフィリピンなどのアジア少数民族への援助のため、使用済みテレホンカードを収集。カードは海外の収集家むけに、業者を通して売却。使用済みカード100枚で、乳児1人1年分のミルク、500枚で教員の給与1ヵ月分となる。



## ホストファミリー募集

下記の方がホストファミリーを募集しています。

☎問い合わせ先：山崎 美智子

〒187 東京都小平市学園西町2-7-13

☎ 0423-45-6358

- 1) カナダ人 (男性) ..... 年齢：28歳  
期間：6か月以上(4月から)
- 2) ドイツ人 (親子/父と娘) ..... 年齢：父? 娘36歳  
期間：1泊2日(3/6~23日の間)
- 3) マレーシア人 (女性) ..... 年齢：32歳  
期間：1週間(3月)  
希望：イスラム教のため食事は自炊の可能性あり。
- 4) オーストラリア (男性) ..... 年齢：28歳  
期間：9ヵ月間(3月から)  
希望：小平市周辺



## ふ ろ む え で い た あ ず

東京日本語ネットワークのニュースレター『日本語ネットワークニュース』が、創刊いたしました。今後もみなさまのご意見を反映した紙面構成で、活動に役立つ情報をお届けしてゆきたいと思っております。みなさまからのご意見やご要望、情報などをお待ちしておりますので、ぜひ下記までお寄せください。

■日本語ボランティアQ&A/活動の上困ったこと、疑問に思ったこと、または、「こういうときに、こういう解決方法が効を奏した」という体験など。

■BULLETIN BOARD/団体・個人を問わず、人材や情報を募集しているかたのための告知板です。日本語ボランティアに関すること、またそれ以外のことでもけっこうです。

■日本語ボランティアや在日外国人のために役立つ知っていると便利な情報(組織、新聞や雑誌の記事など)。

＝『日本語教室マップ』の訂正のお知らせ

板橋区・フレンド日本語教室/○→●(ネットワーク会員)場所/ハッピーロード大山商店街振興組合事務所。お手数ですが手元の『日本語教室マップ』を訂正してください。

切 手	〒162		
	東京	東京	東京
	日	京	都
	本	ボ	新
	ネ	ラ	宿
	ッ	セン	区
	ト	ンテ	神
	ワ	タイ	楽
	ン	ア	河
	ク	気	岸
係	付	1	
	ア	の	
		1	

東京日本語ボランティア・ネットワーク責任発行

☎03-3235-1171